

平成26年度 県立竜ヶ崎南高等学校自己評価表

No. 1

目指す学校像	「すべての教育活動は生徒のために」を基本理念として、一人一人の生徒を大切にしながら、社会の要望に応えられる、誠実で自主的精神に充ちた、創造性豊かな「将来社会に貢献できる人材」を育成する学校。		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
<p>【成果】</p> <p>○教職員の毎朝の声掛け指導を通して、身だしなみについてはある程度改善されている。また生徒との会話を通じて学校生活の中に落ち着きが見られるようになってきた。</p> <p>○学び直しと平行して進路学習のためのプログラムを工夫していく中で、以前よりも生徒の取組が良くなってきているとの評価が得られるようになった。</p> <p>○学校ホームページや説明会、中学校訪問などを積極的に行うことで、定員確保に繋がっている。</p> <p>【課題】</p> <p>○基礎学力に乏しく、学習に取り組む前向きな姿勢が見られない生徒が多い中で、いかにして主体的に授業に取り組ませるか。</p> <p>○自分の将来について真剣に考えるための材料が乏しく、希望がはっきりせず努力のしかたもわからない実情をどう改善していくか。</p> <p>○基本的生活習慣が身に付いていない生徒が多く、服装の乱れや遅刻への指導を保護者と職員がいかに連携していくか。</p> <p>○部活動の加入率が低く、委員会活動なども低調。部活動の活性化や生徒の自主的活動をどう促進していくか。</p>	<p>生徒一人一人が主体的に学習できる指導方法の工夫・改善を進め、基礎学力の向上を図る。</p>	<p>①礼節を重んじ、落ち着いた授業環境（体罰等に頼らない指導）の成立を目指し、授業の進め方や指導方法・評価方法を研究する。</p> <p>②基礎学力不足を補うための学び直しの教材を授業に取り入れながら、学力の向上を図る。</p>	B
	<p>キャリア教育の充実と進路先の開拓を推進し、全ての生徒の進路決定を図る。</p>	<p>③人生や社会をみつめる態度を養い、生徒一人一人の興味や関心に応じた進路選択を支援し、卒業予定者全員の進路決定を目指す。</p>	B
	<p>基本的生活習慣を身に付けさせる。</p>	<p>④制服をきちんと着こなし、身だしなみの大切さを学ばせる。 挨拶の励行を徹底させ、社会人になるための最低限のマナーを学ばせる。 社会人として信頼されるために、時間を守って生活できる習慣を身に付けさせる。 環境美化に努める習慣を身に付けさせる。 いじめのない環境を整え、他人を思いやる精神を学ばせる。</p>	B
	<p>生徒会を中心とした学校行事や部活動への参加を奨励し、特別活動の充実を図る。</p>	<p>⑤部活動加入率向上を目指し、強健な心身と情操の育成を目指す。 ⑥生徒による自主的活動の尊重と学校のより一層の活性化を図る。</p>	C
	<p>生活体験や社会体験を通して、社会の変化に適切に対応できる力を育成する。</p>	<p>⑦学校での環境美化や企業等での体験活動を奨励し、勤労観・職業観の育成と充実を支援する。</p>	A
	<p>地域への働きかけを充実させ、地域に愛され、必要とされる学校づくりを目指す。</p>	<p>⑧保護者との連絡・連携に努め、教育活動への理解を求める。 ⑨地域社会への連携に努め、地域になくてはならない学校作りを目指す。</p>	B

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題	
教科指導	授業時間の確保と内容の充実に努める。	落ち着いた授業環境を整え、チャイムとともに始まる授業を行う。	① B	B	授業環境改善, 生徒の授業への取組の改善, 効果的な学び直しについてはさらなる工夫が課題
		学び直しを含め, 内容を精選してわかりやすい授業を心がける。	① B		
	進路実現に効果的な指導に努める。	進路の実現に繋がる授業や模擬面接等を実施する。	③ A		
		各学年ごとに段階に応じた進路説明会を実施する。	③ A		
国語	基礎学力の定着を図る。	生徒の実態に合わせて授業内容を工夫する。	①② A	A	漢字検定は例年になく受検者が増加したが, 合格率が高くなかったため, 資格取得に向けての指導が課題
		習得状況を確認しながら, 基礎基本の習得に重点をおいた学習を展開する。	① A		
		漢字の読み書きの実力を養成し, 漢字検定資格取得へ導く。年間3回実施。	①③ A		
	進路実現のための授業を展開する。	課外等を実施して文章読解力・表現力を養成する。週1回及び長期休業中に実施。	③ B		
		進路実現のために, 個に応じた指導を行う。	③ B		
		目標に向かい自主的に学習する態度を育成する。	①② A		
地歴・公民	基礎学力の定着・向上に努める。	生徒の実態に即した教材を精選する。	①② A	B	作業的・体験的な学習活動をさらに充実させるため, 本校生徒に即した教材の精選と, 内容の工夫・研究が課題
		授業の規律を保つ(忘れ物・遅刻・私語等への指導)。	④ B		
		中学校までの学習内容の確実な定着を図るとともに, 発展的な学習内容を取り入れ大学入試に対応した学力をつける。	②③ B		
	生徒の学習意欲を高める指導を工夫する。	視聴覚教材, グループ学習など, 作業的・体験的な学習活動を取り入れ, 教科に対する興味関心を引き出し, また, 発問を工夫し, 生徒自らが考える授業を展開する。	①② B		
特別教室を活用して, 資料集・現物史料などを用いることで学習内容の理解を深めさせる。		①② B			
数学	基礎学力の定着を図る。	学び直すことを目的とした教材を用意し, 取り組ませる。	①② A	A	評価も含めた学び直し教材の取組に関する検討と, 大学入試に向けた課外を充実が課題
		TT(ティーム・ティーチング)の特性を活かし, 習熟度別少人数制授業を積極的に行い, 生徒に理解させるよう心掛ける。	①② A		
		授業の内容を精選し, わかりやすい授業を心掛ける。	① A		
	進路実現のための授業を行う。	課外授業等で応用問題に取り組み, 大学入試に対応できるようにする。	②③ B		
		進学や就職試験問題などへの対策を行う。	①③ A		
家庭学習の習慣を身に付けさせる。	①③ B				
理科	自然の事物や現象に見られる基礎的・基本的な原理や法則の定着を図る。	授業内容を基礎的・基本的なものに精選し, 分かりやすい授業を展開するように努める。	① A	A	わかりやすい授業の検討と, 実験観察やパソコンの使用を通して理解を深め, 進路実現に必要な学力を身につけさせることが課題
		基礎学力の定着を目指し, 基本問題の反復練習を多く取り入れ, 基礎力の定着を図る。	① A		
		ノートやプリントなどの提出を徹底させ, 生徒の理解状況を把握する。	① A		
	知的好奇心や探求心を喚起し, 自分なりの自然観を持たせる。	視聴覚機器やパソコンを積極的に活用し, 身の回りにある題材を用いた実験観察を行うように努める。	①② B		
		実験・観察・実習を多く取り入れ, 直接見たり触れたりする機会を増やし, 理科の楽しさ・不思議さを体感させる。	①② A		
		視覚教材や資料集を用意し, 写真などで確認させることでより理解を深めさせる。	①② B		
保健体育	運動能力の向上を図る。	体力テストに集中させ, 記録が伸びるよう努力させる。	②⑤⑥ B	B	授業への取組意識の向上と, 体育の実技面での知識を深め, 如何に技能を高めていくかが課題
		授業を大切に, 真剣に取り組めるよう努める。	②③ B		
		各種の運動を実践させ, 生涯スポーツ獲得を目指させる授業を展開するよう努める。	①② B		
	規則を守れるように努める。	授業開始等の時間を守らせ, 全体での集合・準備体操を定着させる。	④ A		
授業に相応しい服装・靴の履き方を指導し, 徹底を図る。		④ A			

教	芸術	様々な音楽に親しむ。	日本の歌曲のみでなく、外国の歌曲にも親しみ、その楽曲の特徴を捉えて歌唱する。 また、二重唱等に取り組み、歌の響きを感じる活動を取り入れる。 ①②⑥	B	B	楽曲の難易度を上げることも含めた内容の検討、グループ活動における発表方法の工夫と充実、鑑賞の分野の時間を確保が課題		
			ミュージカル、パ・ラ、クラシック音楽等を鑑賞し、その良さを感じ取り、それらに親しむ心を育てる。 ①⑥	C				
			TVなどで用いられている音楽を取り上げ、音楽を身近に感じ取ることができるようにする。 ②⑥	B				
		楽器の演奏技術を身に付け、表現する楽しさや喜びを感じとる。	楽器の演奏に必要な基礎知識の定着を図る。 ①	B				
			ギター、箏などの基本的演奏法を身に付ける。 ①	A				
		独奏、またはアンサンブルで演奏することを通して、表現する喜びを感じ取ることができるようにする。 ②	B					
	家庭	家庭生活に関する知識と技術を総合的に習得させる。	生徒の実態を十分に把握し、授業展開において無理のない年間指導計画を策定する。 ②⑦	A			B	生徒の学習意欲を喚起し、生活に即した知識を学ばせ、実践力や問題解決力を育成することが課題
			生徒の興味・関心を引き出し、自ら学習する主体的な心を育成する。 ①	B				
			課題提出を通じて学習理解度を確認し、理解不足箇所の把握に努め、指導に生かす。 ①	A				
			実習や学習を充実させ、技術の向上を図る。 ⑥⑦	A				
自分及び家族の生活の向上を図る態度を育てる。		家庭生活や学校生活での問題点を把握し、授業や家庭クラブ活動を通じて研究的な活動ができるようにする。 ⑥⑦	C					
情報	情報活用の実践力を高める。	ワープロソフトを用いて文章を作成する能力を身に付けさせる。 ③	B	B	実習時間の確保と、生徒の作品作成における指導における計画的な授業展開が課題			
		表計算ソフトを用いて、基本的な関数機能を理解させる。 ③	B					
		プレゼンテーションソフトを用いて、情報を適切に表現する力を身に付けさせる。 ②	B					
	情報の科学的理解を深める。	コンピュータの仕組みと高性能化について理解させる。 ③	A					
		情報モラルや著作権について理解させる。 ②	A					
		インターネットの基本的な仕組みを理解し、情報を正しく検索・収集する力を身に付けさせる。 ②③	B					
英語	基礎学力の定着と応用力、コミュニケーション能力・態度の育成を図る。	生徒の学び直しと振り返りに重点を置いた授業を展開する。 ①	B	B	学び直しに関連する教材や授業形態の改善や検討、英語検定やコンテスト等の活用や指導方法の検討、学習指導要領・観点別評価の実態に応じた運用方法が課題			
		授業形態を工夫し、T・Tやグループ学習を通じて、生徒同士の学び合いを支援する。 ①②	B					
		教材の選択を吟味し、工夫と充実を図り、さらに、プリントや学習ノート、ファイル等を適宜活用し、学習効果を高める。 ①②	A					
		授業内容や板書事項を精選し、わかりやすい授業を心掛ける。 ①	A					
		外部の検定やコンテスト等を活用し、生徒の動機付けと挑戦する意欲を喚起し、個々に対応した継続的な指導をする。 ①③	B					
		新学習指導要領に基づき、本校生徒の実態に応じた授業を展開し、運用については教科内で情報の共有を行う。 ①②	B					
教務	教育課程編成や評価方法を工夫する。	教育課程の編成と適切な評価方法に配慮し、充実した学習活動に努める。 ①	B	B	教育課程の改善を検討、観点別評価実施の徹底、シラバス完成、学校説明会等の参加者の増加に向けて新たなPR方法の検討、授業変更方法の周知徹底が課題			
		効果的な学習指導が計画的に実施できるよう、学習指導年間計画を作成し、意欲的に授業に取り組む。 ①	A					
	特色ある学校づくりに努め、PRを積極的に行う。	学校説明会や体験入学を充実させるとともに、ホームページや中学校訪問等を通じて本校のPRに努める。 ⑦⑧	B					
	授業時数の確保に努める。	授業交換を適切に行い、突然の授業変更や自習時間が出ないよう努める。 ①	C					
		行事の際の特別編成授業については教科のバランスに配慮し、偏りのない編成に努める。 ①	B					
	行事内容により短縮授業を取り入れることで授業の確保に努める ①	A						

図書	図書室の整備に努め、環境を整える。	室内の美化に努めるとともに配架の位置を工夫することで、利用しやすい環境を整える。 ⑦ A	B	利用者をさらに増やすための積極的なPR、本の整理と効果的な配置が課題
		購入希望調査を行い、希望図書の購入と蔵書量の増加に努める。 ⑦ B		
	広報活動をより強化し、本に親しむ習慣を身に付けさせる。	情報が古くなった本を処分し、購入希望調査に基づいた蔵書を増やす。 ③⑦ B		
	新刊だよりを通じてPRに努め、利用率の向上を図る。 ⑦⑧ B			
特別活動	生徒会活動・学校行事等の活性化を図る。	授業やHRで、図書室資料が積極的に活用されるよう働きかける。 ①⑦ C	B	生徒の満足度の高い学校行事の充実、自主的な生徒会運営の指導の充実、部活動の加入率の増加と活性化、ボランティア活動の推進への取組が課題
		生徒会役員が中心となり、各学級・各専門委員会と連携を取りながら、より良い学校行事を自主的に運営できるように支援する。 ⑥⑦ B		
	部活動の活性化を図る。	各専門委員会の年間活動を検討し、委員会活動の活性化に努める。 ⑥⑦ B		
	ボランティア活動の推進を図る。	野球応援や翔南祭等の学校行事を通して、多くの生徒に達成感・充実感を体験させられる環境作りに努める。 ⑥⑦ A		
生徒支援	規範意識と基本的生活習慣を身に付けさせる。	部活動紹介を充実させるとともに、各部活動の自主的・自発的な活動を支援し、部活動加入率の向上に努める。 ⑤⑥ C	B	保護者や職員の共通理解および生徒へ理解させ、段階的指導や遅刻指導の徹底とスカート指導の導入が課題
		花壇プロジェクトやボランティア活動への積極的な参加を促し、より多くの生徒が充実した体験できるよう努める。 ⑦⑨ B		
	自他の生命を尊重し安全に生活する態度を養う。	服装容儀指導や段階的指導・遅刻指導・登校時の一斉指導を実施して、規範意識や基本的生活習慣の確立を図る。 ④ B		
		パブリックとプライベートの区別ができる生徒の育成に努める。 ④ B		
進路支援	キャリア教育の視点から進路指導を進める。	校内巡視をきめ細かく行い、問題行動の未然防止に努める。 ⑧ B	B	進路支援部が主体的に計画を立て、各学年と連携協力を密にして卒業後を見通した指導の徹底が課題
		学習と進路との結びつきを明確に捉えられるよう支援する。 ③ B		
	生徒の進路希望100%の実現を目指す。	体験型学習の機会と事前事後指導を通して、生徒が自分の進路のイメージをはっきり描き、自分の課題を認識し、具体的な目標を設定できるよう支援する。 ②③⑦⑧ A		
		基礎学力の育成・定着を支援する。 ①② B		
保健厚生	健康で安全な学習環境の整備及び美化に努める。	面接指導・作文指導をも含め広くコミュニケーション能力の育成を支援する。 ②④ B	B	非常階段を使用しながら有事に備えた避難訓練の見直し、全学年対象にした性教育の実施が課題
		きめ細かい求人開拓に努める。 ③⑧ A		
	健康教育を推進し、心身共に健康に生きる知識と態度を身に付けさせる。	資格取得を奨励する。 ②③④⑧ B		
		施設・設備等の安全点検を学期に一回行い、安全教育を推進する。 ⑦ B		
保健厚生	健康で安全な学習環境の整備及び美化に努める。	年に一回全校生徒による清掃を行い、学習環境の整備と環境美化意識を高める。また、整美委員会を中心に校舎内外のゴミ拾いを実施する。また、日々の清掃活動においても重点をおいて取り組めるよう努める。 ②⑥⑦ B	B	非常階段を使用しながら有事に備えた避難訓練の見直し、全学年対象にした性教育の実施が課題
		避難訓練等を通して自己危機管理能力を身につけ、非常時に適切な行動が取れるようにする。 ⑦ C		
	健康教育を推進し、心身共に健康に生きる知識と態度を身に付けさせる。	日常の健康観察や健康診断を通して心身の健康状態の把握に努め、適切な保健指導・健康相談活動を推進する。 ⑥⑦ B		
		スクールカウンセラーと積極的に情報交換を行い、連携を図りながら生徒の心のケアに努める。 ⑥⑦ B		
		必要に応じて専門家による性感染症予防の講演等を実施する。 ④⑦ B		

渉外	学校・保護者・地域との連携強化に努める。	案内文書等を工夫し、行事に親しみを持たせる。 ⑧ B	B	P T A行事への参加率の向上と内容の充実、創意工夫したP T A行事の見直し、P T A役員の確保、学校行事とP T A活動の連携を図り、生徒の学校生活の充実が課題
		案内文書が確実に保護者の手に渡りよう工夫し、徹底する。(郵送、ホームページ) ⑧ A		
		総会や各種行事への保護者の参加率を高め、内容の充実を目指す。 ⑧ C		
		P T A役員・生徒指導委員会の活動の活性化を図り、祭礼巡視、乗車指導、朝の声かけ運動等の行事に職員と連携して活動する。 ⑧ B		
	P T A事業の充実を図る。	広報誌「くすの木」を年2回発行し、学校や生徒の様子を知らせ、情報提供に努める。 ⑧ A		
		校外研修の内容を検討し、参加を積極的に呼びかける。 ⑧ B		
		P T A評議員会の円滑で効率的な運営を図る。 ⑧ A		
意向調査の実施を行うと共に、学級・学年単位の連携を図り、役員選出の方法を効率的に実施する。 ⑧ C				
1 学年	ルールを守る。	基本的な生活習慣を身に付けさせる。 ④⑧ B	A	遅刻・欠席の減少に向けての指導、卒業後を見据えた進路指導・生き方指導、資格取得にむけての課外補習と合格率向上の指導が課題
		服装容儀指導・一斉指導を通して制服をきちんと着る習慣を身に付けさせる。 ④⑧ A		
		卒業に向けた目標を設定し、正しい判断力に基づいた自己コントロール力を身につけさせる。 ④⑧ B		
	基礎学力の向上に努める。	生徒の実態に応じた授業を行うように努める。 ①② A		
		授業を受ける態度が適切であるよう指導する。 ①④ A		
		英語検定・漢字検定等の資格取得を奨励し、挑戦者には課外等で指導する。 ③ B		
	豊かな心を育む。	部活動や学校行事に積極的に参加させ、感動体験を通し、自主性・創造性を育む。 ⑤⑥ A		
		清掃を徹底して行うことで、勤労や奉仕の心を育む。 ②④⑦ A		
		日々の生活のなかで意識的に関わることで、好ましい人間関係が築けるよう援助する。 ②⑥ A		
2 学年	基本的な生活習慣の確立を図る。	家庭との連絡を密にしてけじめをつけた学校生活を送れるようにする。 ④⑧ B	B	進路への意識付けの徹底、欠席・遅刻指導に関する保護者との一層の連携、服装容儀・言葉遣いなど社会人してふさわしいマナーを身につけさせる指導、継続して基礎学力を身につけさせる指導が課題
		服装容儀指導・一斉指導を通して制服をきちんと着る習慣を身に付けさせる。 ④⑧ B		
		正しい言葉遣い、挨拶がしっかりできるよう指導する。 ④⑧ C		
	基礎学力の向上に努める。	生徒の実態に応じた授業を行うように努める。 ①② A		
		授業を受ける態度が適切であるよう指導する。 ①④ B		
		就職希望者及び進学希望者に対し模擬試験を実施し、進路決定に必要な学力を身に付けさせる。 ②③ A		
	豊かな心を育む。	部活動や学校行事に積極的に参加させ、自主性・創造性を育む。 ⑤⑥ B		
		清掃を徹底して行うことで、勤労や奉仕の心を育む。 ②④⑦ B		
		H R活動を通じて好ましい人間関係が築けるよう援助する。 ②⑥ B		
		キャリア教育・インターシップ等を通して、社会人として求められる資質を身につけさせる。 ③④ A		
3 学年	基本的な生活習慣の確立を図る。	毎日の服装容儀指導(全体指導は月1回)を通して身だしなみを整えさせる。 ④⑧ C	B	効果的な服装容儀指導、言葉遣い・挨拶指導の具体策、資格取得に向けた指導の徹底、進路指導に繋がった日々の授業への取組が課題
		正しい言葉遣い、挨拶がしっかりできるよう指導する。 ②④ C		
		基本的な生活習慣や規則正しい生活のリズムを身に付けさせる。欠席5日以内、遅刻10回以内を目標とする。 ③④⑧ B		
	基礎学力の向上と進路実現を推進する。	生徒の実態に応じた参加型授業を行い、生徒のコミュニケーション能力、基礎学力を身に付けられるよう努める。 ①② B		
		積極的な資格取得(英語・漢字・家庭技術・秘書検定等)に向け、努力させる。 ③ B		
		定期的な個人面談(年間4回)、L H Rや総合的な学習の時間、進路説明会等を通して進路意識の高揚を図り、進路先の希望が実現できるように努力する。 ②③⑧ A		
		意識の高揚を図り、進路先の希望が実現できるように努力する。 ②③⑧ A		
	豊かな心を育む。	家庭との連絡・調整を充実させ、生徒・保護者との信頼関係を築く。 ⑧ A		
		清掃を徹底して行うことで勤労や奉仕の心を育む。 ②④⑦ A		

評価の判定基準 A…大変よくできている B…良くできている C…やや不十分 D…不十分